**依頼者さまへ**

**治験用外注検査のための事前準備**

* **治験依頼者**

**≪外注検体容器の準備≫**

＊【外注用検体容器の準備について/治験用外注検査のための準備】に添って採血管等をご　準備ください。

（海外から当院へ直接検査キットを搬入する場合などはこの限りではありません。）

＊ **特殊な検体容器を使用する場合、また特殊な処理・保管方法が必要な場合はお知らせください。検査技師CRCとの相談が必要となる場合があります。**

〔例〕

　　　　　● 冷却遠心分離（4℃）が不可または望ましくない場合。

　　　　　● 採血から処理・保存までに、時間的制約がある場合。

　　　　　● 回転数2600g以上での遠心分離が必要な場合

　　　　　● 固定角ローターにて遠心分離が必要な場合

　　　　　● 10mL採血管よりも大きいサイズのものを遠心する必要がある場合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など

＊ ラベルを貼る場合は、中の検体の状態が見えなくならないように貼ってください。

**≪被験者別検査用キットの準備≫**

＊ 採取容器と分離後の検体を保存する容器は、輪ゴムでまとめるか、小分けの袋に入れるなどして、別に分けて入れてください。

（海外から当院へ直接検査キットを搬入する場合などはこの限りではありません。）

＊ 検査会社へ検体集配の手配をし、SRLに依頼する場合は下記の “★外注検査会社” の項目の業務を実施してもらうよう連絡してください。

**≪その他の準備≫**

* + 可能な限り、臨床検査マニュアルを電子で担当CRCにご提供ください。
* **検査技師CRC**

＊ 必要があれば検査技師CRCが事前に処理方法の確認などを行なうことがあります。（打合せを要す場合は担当CRCにお問合せください）

＊ 検体処理シートに沿って検体を処理します。

* **外注検査会社（SRL）**

＊ 通常の検体の収集〈14:40～17:00頃〉にて回収してください。

＊ 検体回収の有無は、検査部検体受付の担当者にご確認ください。

【お問合せ】

　先端医療開発センター　　TEL: 076-265-2049

**依頼者さまへ**

**外注用検体容器の準備について**

1 検体容器は適切なものをご準備ください。

2 以下は院内標準のシールの色見本です。

準備した採血管に貼付してください。

**＜採取時の取り扱い別＞**

　　　　　　 転倒混和

　　 　尿（黄色のシール）

3 別紙を参照し、必要があれば検体用ビニール袋にもシールを貼付してください。

4 各採血管・分注管には、遠心分離の有無、保存条件等を明記してください。

　　　例）　遠心分離　　冷蔵　　凍結　　遠心厳禁　etc…

5 外箱には、使用期限が最も短い採血管の期限を明記してください。

≪処理後の検体は、回収まで3階検体検査室にて保管いたします≫【お問合せ】

先端医療開発センター　 　TEL： 076-265-2049

**≪別紙≫**

**治験用外注検査のための準備**

以下の4種類のシールのうち、必要なものを検査キットの外袋に貼ってください。なお、これらは一例であり、色や表記等に決まった様式はありませんが、必要な情報を分かりやすく表示していただきますようお願い致します。

　　 採血本数　　　本

　 　 　採尿あり

**＜採取時の取り扱い＞**

**のシールの試験管は転倒混和してください**

**のシールの試験管は尿用です**

**採取時刻を記入して下さい!!**